

路線バスとタクシー利用券について



渋谷 理津子 議員



質問 路線バスの現状について伺います。

答 1市4町において8路線を運行し、路線の見直しや運賃等を協議しています。全車両がノンステップ仕様で車椅子の方にもバリアフリーで対応しています。

質問 運行の補助金は、どのようになっているのか。

答 車両購入は8割補助、人件費や燃料費など一路線平均約1400万円の運行経費は、市町の運行距離に応じて負担しています。

質問 利用者を増やすために、どのようなPR活動を行っているのか。

答 小学生が描いたポスターの車内展示や高校の入

学説明会での定期券出張販売、スマートフォンで運行確認ができるシステムの導入など、利用者サービスの向上に努めています。

要望 ①2種類ある時刻表付路線図を一つにまとめ、バス停付近の名所を記載する。②館林駅の東口・西口が起点終点になっている路線を乗り換えなしで広域まで行けるよう路線の見直しを行う。③バス停には日よけとベンチを設け、公共施設やコンビニの前などに設置する。④路線バスに親しみやすい愛称をつける。⑤日本遺産を意識した路線を整備することを要望する。

質問 公共交通に対するニーズをどう捉えているのか。

答 1市4町で館林都市圏公共交通網形成計画を策定中で、住民アンケートや高校生のワークシヨップによる意見を反映させます。

質問 いきいきタクシー利用券と高齢者通院等タクシー利用券は用途や枚数、窓口が異なるが、利用者から

はどのような声があるのか。

答 タクシー利用券を一度に複数枚利用したい。何人かで乗車した場合人数分の枚数を利用したい。補助額を基本料金まで増額してほしい。窓口が分かりにくいというご意見があります。

要望 高齢化が進み対象者が増加する中で制度全体を見直し、利用者の立場に立つてタクシー利用券の一元化を図るよう要望する。

置する。④路線バスに親しみやすい愛称をつける。⑤日本遺産を意識した路線を整備することを要望する。

質問 公共交通安全に対するニーズをどう捉えているのか。

答 1市4町で館林都市圏公共交通網形成計画を策定中で、住民アンケートや高校生のワークシヨップによる意見を反映させます。

質問 いきいきタクシー利用券と高齢者通院等タクシー利用券は用途や枚数、窓口が異なるが、利用者から

公営霊園の設営と樹木葬の推進等について



櫻井 正廣 議員



質問 本市の公営霊園の設営についてお尋ねします。

答 住民からのニーズや周辺自治体の動向を注視していきたいと思えます。

質問 少子化などにより家庭内でのお墓の管理が難しい現状の中、新しい供養の形として注目されている樹木葬の推進についてお尋ね

します。

答 樹木葬は、後継者がいない場合でもお墓の管理や供養が行えるメリットがあります。新しい葬法として長期的な観点から研究したいと考えます。

質問 昭和49年に完成した図書館も既に46年が経ち、同年に完成した館林消防署

は、今年、新庁舎に移転します。現在、喫茶室やキッズスペースを兼ね備えた複合型図書館が注目されていますが、その様な改築への考えについてお尋ねします。

答 利用者の満足度向上のため、周辺の飲食店との連携を図り、子どもから高齢者までが、求めている図書や視聴覚資料等が安易に見つかるような配置に心がけ、親しまれる図書館として取り組んでいきます。

質問 自然災害が多発して

いる昨今、県内でも財政調整基金に災害対策等の使用区分を組み入れる自治体が多くなっています。本市における災害基金導入の考え方についてお尋ねします。

答 災害基金は早期の復旧、復興に資するものと期待されますが、現状では、財政調整基金から必要な経費の対応を考えています。

質問 昨年3月に完成した館林駅西口駅前広場駐車場は、60分100円です。市役所にも南北合わせ約20

0台、また三の丸南面駐車場には約360台の駐車場があり、有料化する方法もあります。市役所利用者は各窓口の認証で無料にし、駐車場利用料を災害基金に充てることで利用者の納得も得られると思えますが、考え方をお尋ねします。

答 自主財源の確保は、自治体の運営において必要な施策の一つと考えます。基金の財源確保の課題など、先進事例を参考に研究していきたいと思えます。